

平成22年9月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 アテナ工業株式会社

コード番号 7890 URL <http://www.athena-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下野泰輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 小木曾範夫

TEL 0575-24-2424

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	2,341	△11.3	27	△63.8	34	△54.2	17	△54.6
21年9月期第1四半期	2,640	3.4	76	47.5	74	42.2	39	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	1.88	—
21年9月期第1四半期	4.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	10,117	6,013	59.4	631.40
21年9月期	9,784	6,065	62.0	636.91

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 6,013百万円 21年9月期 6,065百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	5.00	—	7.00	12.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	4,900	3.1	130	19.1	140	24.1	70	21.5	7.35
通期	10,100	5.4	360	△5.1	400	△1.9	200	△3.0	21.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	9,524,070株	21年9月期	9,524,070株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	440株	21年9月期	440株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第1四半期	9,523,630株	21年9月期第1四半期	9,523,630株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、2008年リーマンショック以降の急速な世界経済減速の影響を受け、厳しい状況で推移しております。政府の経済対策効果などもあり、大企業を中心に緩やかな企業業績の回復も見られますが、円高の再燃懸念をはじめ設備投資の抑制や雇用情勢の悪化、さらにはデフレの進行など市況の低迷は依然として続いており、企業収益は総じて厳しい状況で推移しております。

プラスチック製食品包装容器業界におきましては、大手スーパー、コンビニエンスストアなどがPB商品を多数投入し、需要の喚起を促すなど、価格競争が熾烈な様相を呈している状況から、より一層の低価格化が加速するなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で当社は食品業界に対して、ノウハウを活かした企画提案型営業の徹底、および消費者ニーズに応えるため「安全・安心」をテーマにより良い製品づくりを目指し、生産体制の合理化、効率化の徹底により製造原価の低減を図るなど収益確保に傾注いたしました。

その結果、第1四半期までの売上高は2,341百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は27百万円（前年同期比63.8%減）、経常利益は34百万円（前年同期比54.2%減）、四半期純利益は17百万円（前年同期比54.6%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

① 流動資産

当第1四半期会計期間における流動資産の残高は4,981百万円（前事業年度は4,713百万円）となり268百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期会計期間における固定資産の残高は5,135百万円（前事業年度は5,071百万円）となり64百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期会計期間における流動負債の残高は3,735百万円（前事業年度は3,349百万円）となり386百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期会計期間における固定負債の残高は368百万円（前事業年度は369百万円）となり横這いで推移いたしました。

⑤ 純資産

当第1四半期会計期間における純資産の残高は6,013百万円（前事業年度は6,065百万円）となり52百万円減少いたしました。主な要因は、剰余金の配当によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物の残高は1,595百万円となり、前事業年度末に比べ15百万円の増加となりました。

各項目におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における営業活動による資金の増加は138百万円（前年同期は資金の増加100百万円）となりました。主な要因は、仕入債務の増加による資金の増加558百万円、売上債権の増加による資金の減少272百万円、法人税等の支払額144百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における投資活動による資金の減少は57百万円（前年同期は資金の減少133百万円）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出130百万円、定期預金の預入による支出45百万円、定期預金の払戻による収入120百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における財務活動による資金の減少は66百万円（前年同期は資金の減少47百万円）となりました。主な要因は、配当金の支払い66百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の業績予想については、平成21年11月11日付「平成21年9月期決算短信」を公表しました業績予想に変更はございません。

なお業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前事業年度末における実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,690,994	1,750,120
受取手形及び売掛金	2,505,527	2,233,150
商品及び製品	456,189	439,722
仕掛品	46,196	53,602
原材料及び貯蔵品	183,511	127,979
その他	99,666	108,877
貸倒引当金	△150	△130
流動資産合計	4,981,935	4,713,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,192,827	1,208,745
機械装置及び運搬具（純額）	1,242,977	1,208,056
土地	967,899	967,899
その他（純額）	378,932	328,781
有形固定資産合計	3,782,636	3,713,483
無形固定資産	67,073	69,608
投資その他の資産		
投資有価証券	795,282	801,376
その他	576,506	572,490
貸倒引当金	△54,231	△54,141
投資損失引当金	△31,600	△31,600
投資その他の資産合計	1,285,957	1,288,125
固定資産合計	5,135,667	5,071,217
資産合計	10,117,602	9,784,541
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,363,993	1,805,271
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	4,297	153,173
役員賞与引当金	—	24,200
賞与引当金	49,293	128,800
その他	518,328	438,315
流動負債合計	3,735,911	3,349,760
固定負債		
退職給付引当金	145,566	145,802
役員退職慰労引当金	222,880	223,300
固定負債合計	368,446	369,102
負債合計	4,104,357	3,718,862

（単位：千円）

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,293,733	1,293,733
資本剰余金	1,322,776	1,322,776
利益剰余金	3,426,842	3,475,644
自己株式	△144	△144
株主資本合計	6,043,208	6,092,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△29,963	△26,331
評価・換算差額等合計	△29,963	△26,331
純資産合計	6,013,244	6,065,679
負債純資産合計	10,117,602	9,784,541

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	2,640,337	2,341,376
売上原価	2,155,657	1,954,471
売上総利益	484,679	386,904
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	49,301	51,269
賞与引当金繰入額	11,150	11,574
退職給付費用	1,611	1,412
役員退職慰労引当金繰入額	3,210	5,830
運賃	200,338	158,634
その他	142,338	130,419
販売費及び一般管理費合計	407,951	359,140
営業利益	76,728	27,764
営業外収益		
受取利息	259	1,488
受取配当金	663	744
受取手数料	3,485	3,355
為替差益	—	1,936
その他	2,264	689
営業外収益合計	6,672	8,214
営業外費用		
支払利息	1,769	1,738
為替差損	6,923	—
営業外費用合計	8,692	1,738
経常利益	74,708	34,240
特別損失		
固定資産処分損	35	255
投資有価証券評価損	1,680	—
会員権評価損	1,279	90
特別損失合計	2,995	345
税引前四半期純利益	71,713	33,894
法人税、住民税及び事業税	1,952	1,284
法人税等調整額	30,425	14,747
法人税等合計	32,378	16,031
四半期純利益	39,335	17,863

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	71,713	33,894
減価償却費	113,724	140,116
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,600	△24,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75,747	△79,507
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,253	△235
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,820	△420
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	940	110
受取利息及び受取配当金	△922	△2,233
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,680	—
会員権評価損	1,279	—
支払利息	1,769	1,738
固定資産処分損益 (△は益)	35	255
売上債権の増減額 (△は増加)	△414,741	△272,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△180,331	△64,592
仕入債務の増減額 (△は減少)	591,435	558,722
その他	79,253	△9,404
小計	174,563	281,868
利息及び配当金の受取額	984	2,292
利息の支払額	△1,269	△1,214
法人税等の支払額	△73,442	△144,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,835	138,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△45,081	△45,081
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△102,428	△130,105
無形固定資産の取得による支出	△5,870	△2,075
その他	△532	△677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,912	△57,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△47,714	△66,665
その他	—	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,714	△66,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,567	1,774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,359	15,791
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,510	1,579,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,378,150	1,595,016

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
麵容器	1,453,263	52.3	1,240,854	52.9	△14.6
弁当容器	259,532	9.4	208,479	8.9	△19.7
味噌・酒容器	90,088	3.2	121,795	5.2	35.2
デリカ他容器	639,426	23.0	536,235	22.9	△16.1
その他	335,815	12.1	235,996	10.1	△29.7
合 計	2,778,125	100.0	2,343,361	100.0	△15.6

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

(2) 受注実績

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
麵容器	1,276,425	52.2	1,127,209	52.9	△11.7
弁当容器	230,204	9.4	168,150	7.9	△27.0
味噌・酒容器	61,300	2.5	103,024	4.8	69.7
デリカ他容器	576,538	23.6	517,249	24.3	△10.4
その他	302,164	12.3	214,350	10.1	△29.7
合 計	2,446,633	100.0	2,129,985	100.0	△13.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

(3) 販売実績

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
麵容器	1,345,369	51.0	1,235,494	52.8	△8.2
弁当容器	286,281	10.8	214,545	9.2	△25.1
味噌・酒容器	61,402	2.3	117,952	5.0	92.1
デリカ他容器	625,091	23.7	540,321	23.1	△13.6
その他	322,193	12.2	233,062	9.9	△27.7
合 計	2,640,337	100.0	2,341,376	100.0	△11.3

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。